

竹林の風

～すべては学校のため すべては子どもたちのため～

栃木県教育委員会事務局
河内教育事務所
令和5年4月28日
発行責任者 西村和孝
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m51/
kawachi-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

第68号



令和5年度がスタートしました

色とりどりのさつきやつつじが綺麗な花を咲かせる季節になりました。学校においても、新入生が徐々に新しい環境に慣れ、子どもたちの元気な笑い声に満ちていることと思います。

河内教育事務所でも、新メンバーを加え、「栃木県教育振興基本計画 2025」の基本理念・教育目標に基づいた教育施策を主体的に展開できるよう、その使命を自覚しながら、明るく前向きに業務に取り組んでいきたいと考えています。

今年度も引き続き、上三川町教育委員会、宇都宮市教育委員会、そして関係諸団体と連携を図りながら、管内小中学校の運営に少しでもお力添えができますよう、所内職員 23 名、誠心誠意取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



◎：転入 / ()は前所属 ○：内部異動

所長	西村 和孝
所長補佐（総括） 兼課長	市村 彰
副主幹	神山 敦子
主任	橋本 良孝
主任	兼岡なつみ ◎ (県民文化課)
主事	宮川 真帆 ◎ (気候変動対策課)
事務補助員	須永 香織
入力事務員	小谷 明美
入力事務員	菊地 裕美
所長補佐兼課長	野口 修一 ○
副主幹兼 管理主事	江連 和範 ◎ (義務教育課)

学校支援課	管理主事	池澤 孝幸	
	副主幹	鈴木 智也	
	副主幹	田中 真也	
	いじめ・不登校等 対策チーム	副主幹〔チームリーダー〕	野口 幹 ○
		指導主事	矢野 憲子 ◎ (ゆいの杜小学校)
スクールサポーター		柴山 洋	
ふれあい学習課	スクールサポーター	小野 幸男 ◎ (のざわ特別支援学校)	
	所長補佐兼課長	石塚 秀幸 ○	
	副主幹	田中 久之	
	社会教育主事	関 直哉 ◎ (若松原中学校)	
スクールソーシャルワーカー〔上三川町担当〕		伊澤 栄一 ○	
スクールソーシャルワーカー〔県央地区県立校担当・地区SV〕		和久知恵子 ○	

しっかりスクラムを組んで ～河内教育事務所長 西村 和孝～

河内教育事務所長の西村と申します。

今、学校は感染症をはじめとする様々な安全への配慮、豊かな心を育む教育の充実、新しい時代に必要とされる確かな学力の育成、働き方改革や休日の部活動地域移行など、多様な課題への対応を求められています。慌ただしく過ぎていく日常の中でも、多くの子どもたちが学校で、いつも笑顔で自分らしく安心して過ごすことができるのは、学校に勤務する職員お一人お一人のお力添えがあってこそであり、日々の地道な取組に感謝しております。

先日、アンジェラ・ダックワース氏の著書である「GRIT（やり抜く力）」を読みました。世の中で成功を収めた人や困難を乗り越えた人は、才能や能力よりも「GRIT（やり抜く力）」が身に付いているそうです。だから、「情熱」と「粘り強さ」を持ってやり抜けば、多くのことが達成できるということです。この本を読みながら、「GRIT（やり抜く力）」の高い集団として、学校に勤務

栃木県が誕生 150 年を迎えます

栃木県教育委員会では、令和5年6月15日に栃木県誕生150年を迎えるにあたり、同年6月を「とちぎふるさと学習強化月間」とすることといたしました。

そこで県教委では、学校の教職員をはじめとした県民の皆様が子どもたちとともにふるさと“とちぎ”の魅力を再発見できる資料「とちぎ学びのパスポート」を作成しました。是非、ご活用をいただき、とちぎで生まれ、育つことに喜びや誇りをもつ子どもたちを育てていきましょう。



「とちぎ学びのパスポート」掲載URL

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/m03/education/gakkoukyouiku/shouchuu/gakuryokukouzyou.html>



この資料から、こんな情報にアクセスできます！

- ・「とちぎふるさと学習」に関する資料
- ・後世に残したい！とちぎの百様
- ・キッズページ とちまるくんと仲間たち
- ・栃木県で調査された様々な統計資料
- ・学校での活用アイデア集

☞“とちぎ”の魅力を再発見につながります！

● 知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム ●

県内全域の中学生を対象に、フォーラム「ふるさと“とちぎ”の魅力と未来」が開催されます。知事を交え、中学生が栃木県の魅力や自慢できるもの、「こうなってほしい」と思う理想の栃木とそのために自分たちができることを語り合います。

フォーラムの様子は、当日のライブ配信又は後日のアーカイブ配信により視聴することができます。（具体的な視聴方法は後日のご案内になります。）同性代が、ふるさと“とちぎ”の魅力やその未来について何を想い、何を語るのか。多くの中学生にとっても関心のあるところではないでしょうか。ぜひ、郷土愛醸成の一つの契機となるよう、ご活用いただければと思います！

＜開催日時＞ 令和5（2023）年6月15日（木）14:00～ ※2時間程度

＜参加者＞ 県内各市町立中学校等に通学している中学生 約25名



する職員の方々がいることを思い浮かべました。学校では、学習指導にしても児童・生徒指導にしてもその他のことにしても、すぐには大きな成果が現れないことがあります。しかし、目に見えて成果が出なくても、「情熱」を持って「粘り強く」教育に携わっている方をたくさん知っています。学校には、高い「GRIT（やり抜く力）」を持ち、子どもたちの将来のために、日々取り組んでいる方が大勢います。そのような方々が、子どもたちや保護者の方々とは真摯に向き合い、献身的に学校教育に尽力して下さっているからこそ、子どもを取り巻く課題が複雑化・多様化する中でも、学校は前進できているのだと思います。

教育事務所としましては、先生方を支える立場として、今年度も学校や先生方、市や町の教育委員会としっかりスクラムを組んで、着実に歩んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

